

# 緑陰テーマ隨想 思い出の旅

## アジアー喧騒の街

——渡辺 利夫



甲州商人の家で育つ  
たからだろうか、私は  
気せわしく働いている  
方が落ち着く。

アジアとの付き合い  
は随分と長いが、観光  
地などに行つたことは  
ほとんどない。「風光明  
媚」や「山紫水明」と  
は無縁であった。

むしろ私は街の雑踏  
の中で安堵と解放感  
じる。

時間があれば雑踏の  
中に分け入り、買うも  
のもないのに商品を物  
じる。

私にとって旅行とは  
小説を読むことでもあ  
る。アルコールが入る

(拓殖大学学事顧問・  
前総長)

色し、賑わうカフェや  
レストランでアルコー  
ルを片手に文庫本を読  
む、といったことが無  
性に楽しい。

は香港とかシンガポー  
ルクアラルンプール、  
バンコク、ジャカルタ  
などの騒々しい街のこ  
とがまず頭に浮かぶ。  
雑踏の一人となつて、  
日傘で陽を避けたカフ  
エの小さな椅子に座り、  
ウイスキーの氷割りを  
ちびちびやりながら文  
庫本で時間を過ごす。  
思い出すだけでも、  
ほうとした気分が私を  
満たす。

は逆だ。喧騒とアルコ  
ールと読書は旅に出る  
私には不可欠の三者関  
係である。

アジアというと、私

は香港とかシンガポー  
ルクアラルンプール、  
バンコク、ジャカルタ  
などの騒々しい街のこ  
とがまず頭に浮かぶ。  
雑踏の一人となつて、  
日傘で陽を避けたカフ  
エの小さな椅子に座り、  
ウイスキーの氷割りを  
ちびちびやりながら文  
庫本で時間を過ごす。  
思い出すだけでも、  
ほうとした気分が私を  
満たす。